

# 小学校 第2学年「国語科」シラバス

## 国語科の領域構成

次の3領域と1事項です  
 ○話すこと・聞くこと  
 ○書くこと  
 ○読むこと  
**【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】**

### 2年生の目標

- 相手に応じ、身近なこと事などについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落さないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- 経験した事や想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。
- 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

### ★評価の観点

- ①「国語への関心・意欲・態度」  
国語に対する関心を持ち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。  
→行動観察
- ②「話す・聞く能力」  
相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。  
→行動観察
- ③「書く能力」  
経験したことや想像したことについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。  
→行動観察・ワークシート・ノート・テスト
- ④「読む能力」  
書かれている事柄の順序や場面のようすなどに気付きながら読む。  
→行動観察・ワークシート・ノート・テスト
- ⑤「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」  
書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。  
→行動観察・ノート・ワークシート・テスト

	学習する単元の名称	主な学習内容
前期	1. はっきりとした声で読もう ・かくれんぼ ・「お話カード」を書こう 2. 書いてあることを正しく読もう ・たんぼぼ ・よく見て書こう 3. ばめんに気をつけて読もう ・お手紙 4. せつめいの文をくらべて読もう ・ふるしきは、どんなぬの ・できるようになったよ ・本は友だち  <自由作文>	・場面の様子や人物の気持ちを想像しながらはっきりした発音・発声で音読します。 ・説明されていることをまとめたりや順序に気をつけて読みとり、表現活動を行います。 ・観察して気づいたことをくわしく書きます。 ・場面ごとに人物のしたことや気持ちに気を付けて、お話を読みます。 ・二つの説明の文を比べて、違いを考えます。  ・順序に気を付けて、文を書きます。 ・読書の楽しさを理解し、自分の興味に合わせて本を選んで読みます。 ・作品のおもしろさを味わい、文で紹介します。
	○画の長さ ○画の方向 ○文字の形 ○楽しかったことをつたえよう 5. しを読もう ・いろいろなおとのあめ ・空にぐうんと手をのばせ ・話したいな、とくいなこと  ・言いつたえられているお話をしろう	・詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しみます。 ・聞く人に伝わるように順序よく話します。 ・神話や伝承を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友達に発表し合います。
後期	1. 人物のようすや気持ちに気をつけて読もう ・名前を見てちょうだい ・絵を見てお話を作ろう 2. どうぶつのおみつをみんなでさぐる ・ビーバーの大工事  ・聞き合おうみんなのたからもの 3. じゅんじょを考えてせつ明しよう ・二年一組、はつ明じむしょ 4. むかし話を楽しんで読もう ・かさこじぞう	・人物の行動を中心に順序に注意して様子や気持ちを想像しながら読みます。 ・絵から想像して、お話を書きます。に関心を持つようにします。 ・大事な言葉を探しながら、言葉に気をつけて読みます。 ・調べたことをもとにクイズを作り交流します。 ・一つの話について、知りたいことを尋ねて話し合います。 ・書くことを整理し、順序を考えて書きます。  ・場面の様子や人物の気持ち、人柄を想像しながら読むとともに、いろいろな昔話を読んで紹介します。
	○かたかなのひょう ○ひつじゅん ○画の交わり方 5. 分かりやすくせつ明しよう ・「おもちゃまつり」へようこそ 6. 虫について知ったことをもとに考えよう ・虫は道具をもっている ・「思い出ブック」を作ろう 7. お話を紙しばいにしよう ・ニャーゴ	○画のつき方 ○文字の中心 ・聞く人によく分かるように、順序よく説明します。 ・似ているところや違うところに気をつけて読み、虫たちの生き方や思ったことについて話し合います。 ・これまでに書いた文章や詩を読み返し、1年間の思い出を書きます。 ・場面に気をつけて、読み取った人物の様子や気持ちが伝わるように紙芝居をします。
	○画の間かく ○かん字の書き方 ○ありがとうをとどけよう	